学校番号	1005

令和２年度　芸術科［美術］

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高校生の美術１」　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「絵画・彫刻」「デザイン」「映像メディア表現」「鑑賞」の分野から、幅広く取り上げ、多種多様な課題に取り組みます。
・与えられたテーマについて、様々な見方や感じ方で取り組み、一人ひとり違った表現の作品を完成させます。答えは一つではありません。個性豊かな表現と、それらをお互いに尊重し合える感性を磨いていきます。

２　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a：美術への関心・意欲・態度	b：発想や構想の能力	c：創造的な技能	d：鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作や活動の様子 ワークシート	コンセプトシート アイデアスケッチや下絵 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発表

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	オリエンテーション	【鑑賞】 「教科書の鑑賞」 　ワークシート記入と発表	○			○	a:教科書に掲載されている作品に関心を持ち、平面、立体、具象や抽象などの認識を深め、これからの美術の授業に対するイメージを膨らませている。 d:クラス全体に向けて発表することを想定しながらワークシートに記入する中で作品に対する興味・関心を認識するとともに、他人の感想を聴くことで作品に対する感じ方の多様性を理解している。	活動の様子 ワークシート 発表
		【絵画・彫刻】 「人物クロッキー」 　1年間の間、毎時間1回行う。	○		○		a:人物クロッキーに関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 c:クロッキーの目的と表現方法を理解し、鉛筆の使い方やものの形の捉え方を学んで、日々努力を重ねている。	制作の様子 作品
		【映像メディア表現】 「パラパラ漫画」 　説明とアイデアスケッチ 　1年間をかけて空き時間などを利用しながら完成させる。 　3学期の評価に加える。	○	○	○		a:アニメーションの仕組みに関心を持ち、その基本的な仕掛けであるパラパラ漫画を理解して表現しようとしている。 b:起承転結を意識したりユーモアに富んだストーリーを計画するなど、個々に主題を生成し、特徴的な表現形式を生かして見る人を楽しませるような工夫を考えている。 c:考え出したストーリーと特徴的な表現形式をうまく組み合わせて、見た目にも美しく楽しめる作品となっている。	制作の様子 アイデアスケッチ 作品

	三原色と色の混色(ステンドグラス風絵画)	【デザイン】 「色相環」 三原色のみを使って色相環を完成させる。 【絵画・彫刻】 「ステンドグラス風絵画」 幾何学模様で構成した額縁を考える。 その額縁の中に自然をテーマに絵を描く。(写真等の資料を利用) ステンドカラーを使い、三原色のみでステンドグラス風に着色する。	○ ○	 ○	○ ○		a:三原色のみであらゆる色が作り出せる不思議さに関心を持ち、混色のルールを学び、色彩豊かに作品を仕上げようとしている。 b:直線や曲線などを組み合わせた幾何学模様と、実際の形からデフォルメを加えた有機的な構成と配色、またはその対比を意識して構想を練っている。 c:三原色の混色による色彩豊かな配色と、ステンドカラーの特性を生かした表現技法を組み合わせて、効果的な表現を工夫している。	制作の様子 下絵 制作途中の作品 作品
2学期	木のカトラリーを作る	【デザイン】【絵画・彫刻】 スプーン、バターナイフ、フォークの中から一つを選び、木を削って実際に使うことを想定して作る。 誰が、何を食べる時に使うか、使いやすい形とはどんなものか、を考えてデザインする。	○	○	○		a:日用品における使用目的と使いやすさに関心を持ち、用と美を満たしたカトラリーを制作しようとしている。 b:実際に使うことを想定し、誰にとって美しく使いやすい形であるかを考えてデザインを練っている。 c:目を閉じて触ったり、口に入れてみるなど使う真似をしながら使いやすい形を追求し、手順を追って丁寧な作業を施し美しく仕上げている。	制作の様子 コンセプトシート 制作途中の作品 作品

	抽象表現に挑戦する(シルクスクリーン)	【絵画・彫刻】【鑑賞】 教科書に掲載されている各々の作品の中から線や形を選び取り、それらを構成して抽象的な図案を作る。 その図案の中から一番気に入った部分をトリミングし、シルクスクリーンの版を作る。 出来上がった版を用いて、重ねる、ずらす、回転させるなどして紙に印刷し、配色も考えながら美しい抽象的な画面を構成する。	○	○		○	a:教科書に掲載されている作品の中から、抽象的な美しさや面白さを感じ取ることに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:選び取った形の抽象的な組み合わせ方について考えたり、版の重ね方や配色を工夫し、創造的な表現の構想を練っている。 d:教科書の作品の中から様々な形を選び出す過程を通して、美術作品の持つフォルムの美しさや面白さを感じ取り、より深く鑑賞することができている。	制作の様子 下絵 制作途中の作品 作品
3学期	私が描き込まれた名画(模写)	【絵画・彫刻】【鑑賞】 教科書に掲載されている作品の中から気に入った作品を一点選び、アクリル絵の具を使って模写する。 その際、画面の中に自画像を描きこむ。 絵の構成や雰囲気を大切にしながら、ポーズ、画面への登場のしかたなどを工夫して自画像を描きこみ、色の付け方もオリジナルの絵に似せて、違和感のないようにまとめる。	○	○	○	○	a:作者の制作意図や表現の工夫に関心を向け、模写することを前提に作品を主体的に鑑賞しようとしている。 b:作品の持つ雰囲気や表現技法など、オリジナル作品の持ち味を感じ取り構図も工夫しながら自画像を描きこもうと構想を練っている。 c:作者の制作意図を想像し、表現技法や色使いを真似ながら自画像の描き方を工夫して表現している。 d:美術作品の良さや作者の制作意図を感じ取りながら、表現技法等を真似ることでよりその作品を理解し鑑賞を深めている。	制作の様子 アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品

※　表中の観点について　a: 美術への関心・意欲・態度　　b: 発想や構想の能力
c: 創造的な技能　　d: 鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。